

第30回 技術研究発表会

平成28年
(2016年)

7/13 水 10:00~

午前の部：特別講演
午後の部：研究課題発表
※当日プログラムは裏面参照

特別講演

『防災・減災のための自助・共助を「わかる」から「できる」へ』

岐阜大学 教授 高木 朗義 氏

毎年のように自然災害により多くの人命が失われています。その一因は災害を自分事として考えないことにあります。この課題解決に向け、多くの人を巻き込みながら、災害への備えを「わかる」から「できる」に変える実践を紹介し、協働・共創による安全で安心な社会のしくみづくりについてお話ししたい。

開催の趣旨

一般財団法人国土技術研究センター(JICE)は、昭和48年(1973年)の設立以来、今年で43周年を迎えます。この間JICEは、高度な建設技術に関する調査研究機関として社会に貢献して参りました。

第30回となる技術研究発表会は、JICEの実施している社会資本整備に係る政策提言等、先進的研究内容や幅広い活動状況等を広く一般の方々に対して紹介する公益事業の一環として開催いたします。

多くの皆様のご参加をお待ちしております。

■会場 イイノホール

東京都千代田区内幸町 2-1-1 飯野ビル 4F
TEL 03-3506-3251

■参加申し込み

JICEのHP

<http://www.jice.or.jp/>

必要事項をご記入の上、お申し込み下さい。

※多数のご来場が予想されますので、参加ご希望の方はお早めにWEBにてお申し込み下さい。

■定員 500名 (参加費無料)



- 東京メトロ 日比谷線・千代田線「霞ヶ関」駅 C3出口 徒歩1分
- 東京メトロ 丸ノ内線「霞ヶ関」駅 B2出口 徒歩5分
- 東京メトロ 銀座線「虎ノ門」駅 9番出口 徒歩3分
- 都営地下鉄 三田線「内幸町」駅 A7出口 徒歩3分



・本技術研究発表会は、土木学会認定の継続教育(CPD)プログラムに認定(JSCE16-0385)されています。

問い合わせ先

JICE 一般財団法人
国土技術研究センター
Japan Institute of Country-ology and Engineering

〒105-0001 東京都港区虎ノ門 3-12-1 (ニッセイ虎ノ門ビル)
TEL 03-4519-5006 FAX 03-4519-5016
E-mail gijutu-happyoukai@jice.or.jp

第30回 技術研究発表会プログラム

■ 午前の部

10:00～ 挨拶 理事長 谷口 博昭

10:05～ **特別講演** 『防災・減災のための自助・共助を「わかる」から「できる」へ』
岐阜大学 教授 高木 朗義 氏

11:45～ 昼食・休憩

■ 午後の部

13:00～ 水害時の避難指示等の意思決定構造に関する研究

本研究は、大規模で激甚な水害を対象に、より安全で確実な避難の実施に向けて、これまで明示的に取り上げられてこなかった、避難に関する意思決定主体の役割・責任、避難指示等の意思決定構造のフレームについて検討を行い、災害時の意思決定の判断基準には、日常モードと危機管理モードの複数の判断基準があることを踏まえ、モードチェンジともいえる判断基準の変更やこれに必要なリスク評価等の機能の強化や判断の正統性の確保に必要な方法論や体制の提案を行うものである。

発表者：岡安 徹也 河川政策グループ 研究主幹

13:35～ レベル2地震動を対象とした荒川下流部堤防の耐震対策に関する研究

本発表では、最新の知見等を踏まえて平成28年3月に全面的に改訂された河川堤防の耐震性能照査手法及び耐震対策設計手法の概要を紹介し、その適用事例として、荒川下流部堤防対象区間の背後地の特徴等から設定した照査条件及び設計条件を用いて耐震性能を評価し、その結果から最も早期に整備が必要と考えられるレベル2地震動に対する要対策区間の対策工について、「河川堤防の液状化対策の手引き」（平成28年3月、国立研究開発法人土木研究所）で新たに示された設計手法を用いて実施した堤防耐震対策検討結果を報告する。

発表者：柳畑 亨 河川政策グループ 主任研究員

14:10～ 休憩

14:25～ ドイツにおける道路構造基準の取組～日本との比較分析～

ドイツでは近年、これまでの道路構造要素別（横断面、縦断面）といった基準から、道路の機能に着目した基準（高速道路、地方部一般道路、都市内一般道路）に変更されている。

本発表では、現地調査等を通じて得た状況等について概説するとともに、特に道路の機能階層に着目し、日本の道路の機能とサービス水準に関して実態分析を行った結果と比較することで、今後の道路の機能に着目した道路構造のあり方について考察を行うものである。

発表者：野平 勝 道路政策グループ 首席研究員

15:00～ 道路沿いの土地利用の変化に対する道路交通対策に向けた課題について

道路周辺の土地利用が変化し、商業施設等の立地による渋滞の発生など道路交通を阻害する事例が散見されている。その一方で、企業などによって事前対策が適切に行われ、渋滞の発生を抑制している事例も存在している。

本発表では、収集した道路交通への影響の把握方法や国内外の事例を踏まえ、道路沿いの土地利用の変化に対する対策を実施するための各種制度や考え方など、参考となる事例について整理し、今後の対策に向けた課題を明らかにする。

発表者：池下 英典 道路政策グループ 研究員

15:35～ 休憩

15:50～ 空き家問題の解決に向けて

空き家対策が社会問題としても取り上げられ、国においても「空き家等対策の推進に関する特別措置法（平成26年11月）」が制定され、対策への道筋が整えられ始めている。実際に空き家を抱える市町村においては、空き家対策に係る先進的な取り組みを展開している自治体がある一方、現況把握すらままならない自治体も見られる。

本発表では、空き家の状況・空き家所有者意向等の現状把握・課題分析から効果的な解決策までを提示するものである。

発表者：伊藤 伸一 都市・住宅・地域政策グループ 研究主幹

16:25～ 建設分野における新技術を活用するための技術評価のあり方について

良質な社会資本の整備を進めるためには、優れた技術を活用することが重要であり、そのためには技術基準等が整備されていない新技術の性能を評価する必要がある。建設分野における技術としては、「材料」や「製品」のほかに「工法」があるが、性能の評価方法に確立されたものは見当たらない。

本研究では、欧米における技術評価制度について報告するとともに、今後の我が国における技術評価のあり方について考察する。

発表者：山田 武正 技術・調達政策グループ 首席研究員

17:00 閉会